

5川健予第1466号
令和6年2月21日

高齢者施設・障害者施設 施設長 各位

川崎市健康福祉局
保健医療政策部予防接種担当課長

新型コロナワクチンの定期接種への移行について（通知）

日頃から、新型コロナワクチン接種事業に御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、令和5年9月20日から実施されている新型コロナワクチンの「令和5年秋開始接種」は3月末をもって終了し、令和6年4月以降は接種時期を秋・冬1回接種の定期接種として実施されます。

つきましては、予防接種法上の定期接種に移行されることに伴い、これまでの接種支援や費用等が別紙「定期接種の概要」のとおりに変更されますので、お知らせいたします。

添付資料

- (1) 定期接種の概要
- (2) 新型コロナ無料接種終了

予防接種担当（施設接種支援）

電 話 044-200-1089

Eメール 40vaccine@city.kawasaki.jp

別紙 定期接種の概要

1 国の接種方針について（令和5年11月22日付け厚生労働省事務連絡）

新型コロナウイルス感染症は「まん延予防上緊急の必要がある」と認められる状況にないため、令和3年2月17日に開始した特例臨時接種は令和6年3月31日で終了します。

令和6年度以降は予防接種法のB類疾病に位置付け、定期接種として実施します。

現行：特例臨時接種 (予防接種法第6条第3項)	令和6年度以降：定期接種B類 (予防接種法第5条第1項)
○接種の努力義務：あり ○市町村長による接種勧奨：あり ○費用負担：全額公費負担	○接種の努力義務：なし ○市町村長による接種勧奨：なし ○費用負担：実費負担

2 定期接種化による主な変更内容

令和6年度から重症化予防を目的に、65歳以上の高齢者及び一定の基礎疾患を有する60～64歳の方を対象に、秋から冬にかけて年1回その年のウイルス株に対応するワクチン接種を定期接種として実施します。

(定期接種B類で対象者が同じ高齢者インフルエンザワクチン接種と概ね同様の扱いになります。)

	現行：特例臨時接種 (予防接種法第6条第3項)	令和6年度以降：定期接種B類 (予防接種法第5条第1項)
接種期間	令和5年9月20日から 令和6年3月31日までに1回	<u>秋・冬に1回</u> （期間は未定）
個別通知 (接種券)	対象者へ接種券を発送 →3月15日終了	通知（発送）はしない
接種の支援	市による高齢者施設・障害者 施設への巡回接種を実施 →3月31日終了	<u>市による巡回接種なし</u>
ワクチン供給	市から医療機関、施設へ配送	医療機関、施設で調達
被接種者の 自己負担	無 料	<u>実費負担</u> （額は未定）
相談窓口	川崎市新型コロナウイルス ワクチン予約コールセンター →3月31日終了	川崎市予防接種コールセンター ○接種制度、接種証明書、副反応 などについて

(1) 接種券発送、再発行の終了について

接種の対象となる方に発送している接種券は、令和6年3月31日までに接種を受ける際に使用することができますが、4月1日以降の接種では使用できませんので御注意ください。令和6年度実施の定期接種では市から接種券を発送しません（接種券は不要になります）。

なお、3月31日までに接種を希望する方で、接種券の再発行を希望する場合は3月15日（金）まで受け付けます。

(2) 市による高齢者施設・障害者施設への巡回接種の終了について

新型コロナワクチンの接種医確保が困難な施設からの要請に応じて医療機関を派遣し、ワクチン接種を推進してきました。しかし、特例臨時接種が3月末で終了することとなり、接種機会を設ける緊急性も無くなったことから、市による巡回接種は令和6年3月末をもって終了します。

(3) ワクチン供給の終了について

令和6年度以降は、新型コロナワクチンは他のワクチンと同様に一般流通が行われる見込みであり、市が行うワクチンの配送・供給は令和6年3月で終了します。他のワクチンと同様に医療機関又は施設で調達してください。

(4) 接種費用の自己負担について

ワクチンの定期接種化に伴い、接種費用は実費負担になります。現在、実費負担額のもととなる接種費用を国において検討しています。接種費用が明らかになり次第、実費負担額をお知らせします。

3 接種の実績報告の終了について

接種進捗状況の把握や国調査の報告のため、新たにワクチン接種が開始されるごとに「接種・実績報告書」の提出や接種実績の電話調査に御協力いただきました。定期接種に移行することをもって令和6年3月末で終了とします。御協力ありがとうございました。

※未定の事項やその他詳細につきましては、分かり次第お知らせします。